

令和4年 駒ヶ根市教育委員会 第9回定例会 次第

令和4年8月23日(火) 午後2時
駒ヶ根市役所 南庁舎2階 大会議室

- 1 開 会
- 2 教育長報告 P 1
- 3 事業報告及び事業計画 P 3
 - ・定例教育委員会 9月27日(火) 午後2時 市役所本庁舎2階 大会議室
- 4 審議案件 P 5
 - (1) 駒ヶ根市文化財審議会への諮問について
- 5 協議事項
なし
- 6 報告事項 P 9
 - (1) 行事共催等承認申請の専決処分について
- 7 その他 P 10
 - ・令和4年度南部市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会の開催について P 10
 - ・第65回長野県市町村教育委員会研修総会について P 11
 - ・令和4年度 主幹指導主事学校訪問について P 13
- 8 閉 会

令和4年度 第5回駒ヶ根市定例教育委員会 8月23日(火)

『裏山に一つの道や 葛の花』 野村喜舟



季語：葛(くず)の花

意味：身近な裏山にたった一つのひっそりとした道がある。そこに
傍げに葛の花が咲いているよ

★葛湯は昭和天皇が亡くなる寸前まで愛飲していたものだ。その葛は、繁茂すると厄介者扱いされるが、モンゴルが砂漠化しそうになったとき、日本の小学生や関係者が種を贈って土砂崩れを防いだという話を聞いた。裏山にひっそりとある一つの道にひっそりと静かに咲く葛の花。見えないところで役に立っている。

『赤蓮の教え』 『もつ元には戻れない』

『ネット・バカ -インターネットがわたしたちの脳にしていること-』 ニコラス・G・カー 2010年

わたしたちはいま、以前とは違う方法で思考している。そのことを最も感じるのは文章を読んでいるときだ。書物なり、長い文章なりにかつては簡単に没頭できた。物語のひねりや議論の転換にはっとしたり、長い文を何時間もかけて楽しんだりしたものだ。いまではそんなことはめったにない。一、二ページも読めば、もう集中力が散漫になってくる。そわそわし、話の筋がわからなくなり、別のことをしようとし始める。

- 前インターネット時代を知る人々の声だ。過剰な情報量により、ネットでは深く処理する力が低下する。それはアナログな読書にも波及する。深く読めない。デジタルに慣れると全般的に集中力が下がるのだ。

『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン 2020年

人間は新しいもの、未知のものを探しに行きたいという衝動がしっかり組み込まれた状態で生まれてくる。(中略)

パソコンやスマホのページをめくるごろに、脳がドーパミンを放出し、その結果、私たちはクリックが大好きになる。しかも実は、今読んでいるページよりも次のページに夢中になっているのだ。

- 新しい刺激を欲する余り、「今よりも次」を強く意識するようになる。最近映像を早回しする人が増えている。何かに深く集中し掘り下げているときはいいが、集中力が奪われれば、今を飛ばしてでも次の浅瀬へ飛び込もうとする。これがデジタルツールにより人間にもたらされたものだ。

『現代病「集中できない」を知力に変える。読む力 最新スキル大全一冊で脳と心、しかもクリエイティブに鍛える』 佐々木俊尚 2022年

「5分の集中」しか保てない凡人でも、その「5分の集中」を36個積み重ねれば、3時間になる。(中略)

とりとめもないことを考えているときとか、そういうときに、いいアイデアがふわりと「舞い降り」てくる。

- 集中力の低下を受け入れて、それを散漫力と考え活用する姿勢を打ち出している。
- いったん発明され、人々に浸透した道具は、忘れ去られることはあっても、意図的に人々が手放すことはない。デジタルツールは楽しく便利で効率が良く、政治・経済・社会にしっかり組み込まれているので増えることはあれ、減ることはない。また、人間は抑制がきかない存在。デジタルツールをセーブして使うなど困難。
これからはいかに発展的にデジタルツールを使うか、被る損失以上の利益をどのよ

うに生み出していかを割り切る時期に来ているのかも知れない。

◆先達の教え① スクールカウンセラー 堀井智帆

○私たちの活動は仕事がとても見えにくいし、何をもって成功したと言えるのかというゴールもやはり見つけにくいんですね。

社会から期待されているのは身近な結果なのかも知れませんが、私はその子の長い人生の中で、いつかどこかで私がやってきたことが響いて、あの時、あの人がこんなことをしてくれたなと気づいてくれたらそれでいいと思っています。

◆そもそも生きた人間を相手にしている教員やカウンセラー等の仕事は、そんなものかもしれない。時代が結果を求めているからと時流を引き合いに出す人が多くなってきている。そんな人は、結果こそ全てだと言ってはばからない。商売や勝負の世界はそうかも知れない。

しかし、将来どのような出会いに恵まれ、どのような生き方をするか分からない未来のつぼみで一杯の若者を、義務教育9年間、高校大学7年間程度で決めつけられたら、子どももたまったものではない。

改めて、堀井氏のような心構えが現場の先生方には必要ではないか。未来に期待できる仕事はそうざらにはないと考えるのは私だけだろうか。



◆先達の教え② 工藤公康VS高橋幸宏 (心臓外科 Dr)

○一流の技術を真似するのと盗むのとでは雲泥の差がある。入り口は真似でも、自分のオリジナルになるところまで技術を高めていく。そこまで徹底的に練習を繰り返して初めて盗んだと言える。

○一流の人は、ものの見方や考え方、実行の仕方が柔軟かつ強靱で、それに加えて謙虚さも持ち合わせている。

二流の人は、一つの見方や考え方、実行に仕方しかできず、思いが弱くてすぐ他人に頼ろうとする。

三流の人は、見ない、考えない、実行しない。何事も他人のせいにし、慢心しがちで他人の言うことを聞かない。

○成長する人は、必ず素直さとブレない信念を持っている。成長する人は、一つのことを実行し続けることのできる人。そのために指導者は、その場にいること、しつこいこと、そして使命感しかない。

◆一流の人間の含蓄ある言葉である。柔軟、強靱、謙虚、素直、信念、継続…。一流の人間が備えているものである。一言で言うと、そういう『こころ』を持っているということだろうか。これらは目にはなかなか見えにくい。見えればすぐに真似して(盗んで)実行する人もいるだろう。見えないからこそ執拗に追い求めることが大事になってくる。

教師の仕事は、飽くなき追究の積み重ねである。地道だが、やりがいのある仕事であることをしっかりと認識し直したいもの。先生離れの風潮をを黙ってみていてはいけない。自身と自負を持って取り組んでいる姿をどんどん地域や保護者に見せていきたい。

《ちよっと立ち止まって》「内から育つ」姿を求めて※最近の教育関係の様子、新聞、ネットの子どもの様子、前編

○ 広島平和祈念式典参加の一行を見送りました。出発の会が終わり、荷物をバスの腹に入れる段になりました。男子生徒が一人すばやく荷物を持っていき、手持ち以外の自分の荷物を入れました。「あれ、手前に置いてる。あれじゃ、後から来た子はどうするんだろうか。置けないよとでも言うだろうな」と思って見ていました。

しかし、一見、邪魔くさそうな表情をしましたが、どの子もそのまま空いた場所を探したり、最初の荷物を避けたりして置いていくばかりでした。最後の子は初めの子の荷物の上に置きました。

ちよっとした声掛けで内から育つ芽を、仲間も親も摘んでしまったのでした。

8月分 教育委員会事務事業計画

2022年8月17日

	曜日	時刻	事業内容	摘要
1	月			
2	火		園長会[]	子ども課
		18:00	広島市平和記念式典中学生派遣学習会[第3委員会室]	教育長、子ども課長
3	水	9:00	庁議[第5会議室]	教育長
		13:30	部課長会[第5会議室]	教育長、両課長
		14:00	市教職員夏期研修会[赤穂公民館]	教育長、教育委員、子ども課
		18:30	人権教育推進協議会[赤穂公民館]	市長、教育長、社会教育課
4	木	15:00	文化財団理事会[文化センター]	教育長、次長、社会教育課
5	金	13:30	市町村教委と県教委との懇談会(リモート)	教育長、教育長代理
			広島市平和記念式典中学生派遣事業(~6日)	子ども課長
6	土			
7	日		県知事選挙	
8	月	9:00	庁議[第3委員会室]	教育長、次長
9	火	15:00	上伊那教育長部会[伊那市]	教育長
		18:30	駒ヶ根ハーフマラソン実行委員会[南庁舎大会議室]	次長、社会教育課
10	水			
11	木			
12	金			
13	土			
14	日	15:00	令和2年度 成人式(代替イベント)[文化会館]	市長、社会教育課
15	月	10:00	令和4年度 二十歳を祝う会[文化会館]	教育長、教育委員、次長、社会教育課
16	火			
17	火	9:00	庁議[本庁大会議室]	教育長、次長
18	木			
19	金	13:30	部課長会[第5会議室]	教育長、次長、両課長
		13:30	光前寺庭園活用委員会[光前寺]	社会教育課
20	土			
21	日			
22	月			
23	火	9:30	庁議[本庁大会議室]	教育長、次長
		14:00	定例教育委員会[南庁舎大会議室]	教育長、次長、両課長
24	水	15:35	教育長講和[東中]	教育長
		18:30	市民総体実行委員会[南庁舎大会議室]	次長、社会教育課
25	木	12:45	地域連例・協働ホーラム講演会[いなっせ]	社会教育課
26	金	10:00	議会全員協議会	教育長、次長
27	土			
28	日		地震総合防災訓練	理事者、全職員
29	月		国保運営協議会[]	子ども課
30	火	10:00	9月議会開会	教育長、次長
		10:00	上伊那市町村教委連絡会[伊那合庁]	教育長代理
31	水	9:30	市内校長会(9月分)[中沢小]	教育長、次長、両課長

9月分 教育委員会事務事業計画

2022年8月19日

曜日	時刻	事業内容	摘要
1	木 15:00	上伊那教育財政懇談会[伊那市]	教育長
2	金	園長会[保健センター第1会議室]	子ども課
3	土		
4	日		
5	月 14:30	第2回就園就学支援委員会[本庁大会議室]	教育長、次長、子ども課
6	火 13:05	主幹指導主事訪問[赤穂南小]	教育長、教育委員
7	水 13:00	主幹指導主事訪問[赤穂東小]	教育長、教育委員
8	木 8:40	主幹指導主事訪問[赤穂中]	教育長、教育委員
	13:20	主幹指導主事訪問[中沢小]	教育長、教育委員
9	金 PM	民生児童委員協議会[]	子ども課長
10	土	赤小運動会	
11	日		
12	月	議会一般質問(予定)[議場]	
13	火	議会一般質問(予定)[議場]	
14	水	常任委員会(予定)[第5会議室]	
		8:50 主幹指導主事訪問[東伊那小]	教育長、教育委員
		12:10 主幹指導主事訪問[東中]	教育長、教育委員
15	木	常任委員会(予定)[第5会議室]	
16	金	決算特別委員会(予定)[第5会議室]	
17	土	中沢・東伊那保育園運動会	
18	日		
19	月		
20	火	決算特別委員会(予定)[第5会議室]	
21	水	決算特別委員会(予定)[第5会議室]	
22	木		
23	金	福岡保育園・赤穂東小運動会	
24	土		
25	日 8:50	第9回信州駒ヶ根ハーフマラソン大会	教育長、次長、両課
26	月		
27	火 14:00	定例教育委員会[本庁大会議室]	教育長、次長、両課長、子ども課
28	水	9月議会閉会(予定)[議場]	教育長、次長
29	木 13:00	県教委との連絡会、市町村教委連絡会代議員会[]	教育長、教育長代理
30	金	赤中・東中文化祭 ~1日	

駒ヶ根市文化財審議会への諮問について

下記に掲げる文化財を市指定有形文化財に指定したいので、駒ヶ根市文化財保護条例（昭和52年駒ヶ根市条例第16号）第4条第3号の規定により、駒ヶ根市文化財審議会に諮問する。

令和4年8月23日

駒ヶ根市教育長
本多 俊夫

記

1 市指定有形文化財に指定する文化財

名 称	員 数	所在地	所有者の名称
小町谷家住宅	8棟、 附7棟、1群、1穴、宅地5群	駒ヶ根市赤穂7951番地 1	小町谷 章

諮問物件の概要【有形文化財 建造物】

名称・員数	小町谷家住宅（8棟、附 ^{つけたり} 7棟、1群、1穴、宅地5群）
所在地	駒ヶ根市赤穂7951番地1
所有者	小町谷 ^{あま} 章氏
年代	主屋（18世紀後半）：推定 文庫蔵（文化9年（1812年））：棟札
対象	主屋1棟、東門1棟、 ^{きよつくら} 経蔵1棟、門（袖壁付、主屋・経蔵間）1棟、 味噌蔵・南の蔵1棟、 ^{ぶんくら} 文庫蔵1棟、洋館1棟、西の蔵・雑穀蔵・穀蔵1棟 附 北門1棟、外便所1棟、蔵屋1棟、蔵屋（庇下に井戸付き）1棟、 ^{にわとり} 鶏小屋1棟、温室1棟、みるく小屋1棟、井戸（ ^{おおいや} 覆屋あり）1群、 ^{むろ} 室1穴 宅地 墓所（基壇付）1群、供養塔1群、石垣（東門北側）1群、 板塀石垣（経蔵南側、味噌蔵東側）1群、土塁（一部石垣）1群、
概況と特色	<p>(1) 位置及び概要</p> <p>小町谷家住宅は、屋号を「羽場（はば）」といい、近世、上穂村にあった旗本近藤氏領913石の代官を努めた家柄である。上穂村はその後に合併され、現在、駒ヶ根市赤穂が小町谷家住宅の立地場所である。天竜川右岸にある小町谷家住宅は、東門を介して南アルプスを眺望し、その背後では中央アルプスを眺望する壮大な土地に立地している。広大な屋敷地は、その一部が土塁で囲われているなど、中世の遺構が遺存する重要な場所である。本棟造である主屋を、門、塀、土蔵、土塁が取り囲む中、多種多様な建造物が群として立地している。</p> <p>(2) 建造物の変遷と概要</p> <p>屋敷地には、主屋1棟を中心に、表門である東門が南アルプスを望む東側にあり、その両側に石垣上の板塀が囲んでいる。東門の南には、経蔵があり、主屋の南側には、味噌蔵、南の蔵、文庫蔵がある。複数の蔵に囲まれた庭は、主屋南側に面して、高質な外部空間を形成している。文庫蔵の南側に隣接して洋館がある。主屋の西側つまり中央アルプスがあるほうには西藏、雑穀蔵、穀蔵が立ち並んでいる。主屋の北側には、回り込んだ土塁に北門が穿たれており、その両脇は石垣になっている。主屋と北門との間は、作業庭と了解される外部空間で、外便所、鶏小屋、井戸、蔵屋、温室、ミルク小屋などの付属建物が立地している。高遠石工による石造の墓、供養塔、碑は、北門を出た外側の屋敷地にあり、作業のための複数の小屋があるほか、かつては社が林立する樹木のなかにあった。小町谷家住宅は、発展的な変容をへて、現在みるような本棟造と了解される建築形態を形成していった。一度形成された建築形態は、すこぶる質が高いものであり、代々がその保存に務めてきた。</p>

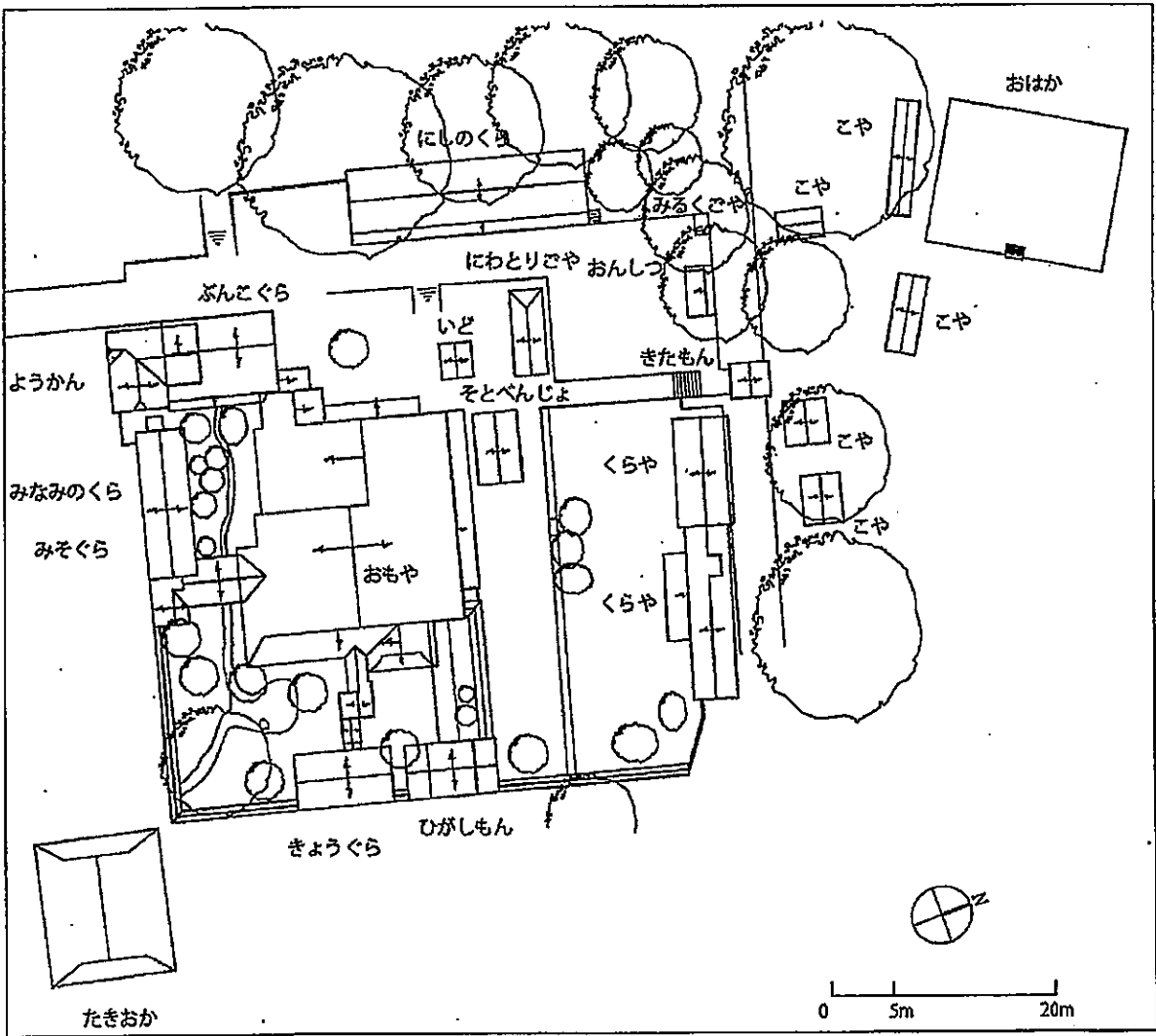
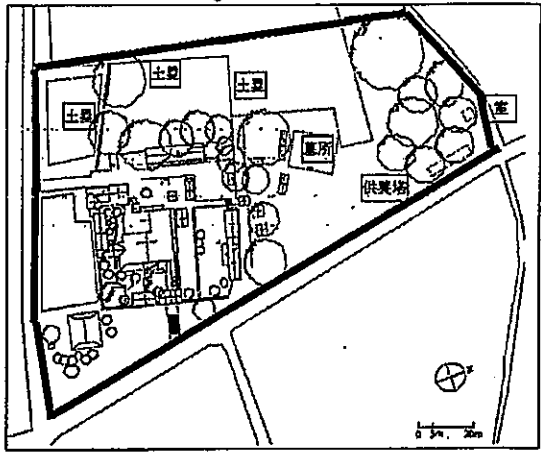
	<p>(3) 保存活動 小町谷家の代々が保存に務めてきた結果、小町谷家住宅の保存状態はすこぶるよい。しかし、近年、土蔵に泥棒が入ったり、土蔵の壁が落ちたりするなど、保存に苦しむ側面も顕在化してきた。現在、一般社団法人小町谷家住宅保存会が発足しており、移行を予定している。</p> <p>(4) 保存と活用 予定されている一般社団法人小町谷家住宅保存会への移行後も、小町谷家の代々が務めてきた保存を継承して、建造物、工作物、庭を保全していく方針となっている。今後は屋敷地の一般公開を進め、活用していく計画である。</p>
<p>諮問理由</p>	<p>○中世に起源をもつ小町谷家が恒久的な家構えを形成していった結果として、現在の壮大な屋敷構えがある。核となる主屋や東門は意匠的に優秀であり、屋敷の全体構成は歴史的かつ学術的にすこぶる重要である。また、小町谷家住宅は、建築学のほか、歴史学、民俗学、考古学など、様々な学問分野から注目され、学際的に重要な空間といえる。</p>
<p>指定基準</p>	<p>駒ヶ根市文化財保護条例施行規則第2条による 市指定文化財の指定基準 7 建造物 (ア) 意匠的に優秀なもの (ウ) 歴史上重要なもの (エ) 学術上重要なもの</p>

※参考文献

『令和3年2月駒ヶ根市小町谷家住宅調査報告及び所見』(信州大学土本研究室)

『小町谷家住宅における本棟造り民家の変容考察』(信州大学土本研究室 稲垣航 令和3年3月)

小町谷家住宅 配置図



R4-9 定例教育委員会報告 行事共催等承認申請一覧(専決分報告)

区分	受付番号	行事の名称	団体名	開催日	開催場所	承認
後援	4-048	旭光カメラクラブ 2022年写真展	旭光カメラクラブ	令和4年9月10日(土)	駒ヶ根市立博物館	承認
後援	4-049	オカネ教育スタート 講座	駒ヶ根青年会議所	令和4年10月16日(日)	駒ヶ根商工会館	承認
後援	4-050	SDGsパーク	駒ヶ根青年会議所	令和4年10月23日(日)	駒ヶ根家族旅行村	承認
後援	4-051	子ども教室・子ども 食堂「あるばか ふえ」・りとるまみー ずわーくす等	つなぐ♡HUB	年間通して	×WINまみーずか ふえ他	承認

共催 0件
 後援 4件
 協賛 0件
4件

承認 4件
 不承認 0件
 協議中 0件
4件

4教生第125号
令和4年8月10日

市町村教育委員会 各位

南部市町村教育委員会連絡協議会
会長 上山隆三

令和4年度南部市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会の開催について（通知）

標記の件につきまして、下記のとおり総会を開催いたします。

公務ご多用中と存じますが、貴教育委員会の教育委員及び事務局職員の出席についてご配慮くださいますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 日時 令和4年10月4日（火） 午後2時00分より
- 2 会場 飯島町文化館 小ホール
飯島町飯島 2489 番地（TEL0265-86-3111）
- 3 参加者 教育委員及び事務局職員
- 4 日程 ① 総会 14:00～ 飯島町文化館 小ホール
② 研修視察 15:00～ 飯島町文化館他
・講演「コミュニティスクールについて」飯島町教育長 片桐 健
・視察 飯島町学校給食センター
③ 情報交換会 17:15～ アグリネイチャーいじま
※会場までの移動は各市町村の車をお願いする予定です。
- 5 議題 (1) 令和3年度事業報告及び決算について
(2) 令和4年度事業計画（案）及び予算（案）について
(3) その他
- 6 出席報告 別紙により9月22日（木）までに飯島町教育委員会へ提出してください。（FAX又はメールにてお願いします）
- 7 負担金 情報交換会出席者 4,500円（情報交換会4,000円＋年会費500円）
情報交換会欠席者 500円（年会費500円）
※平成25年度から個人負担金として年会費500円をいただいております。
教育次長は、記念品贈呈の対象としないため、年会費500円は不用です。
※当日徴収しますので欠席者分も含めてご準備をお願いいたします。
※新型コロナウイルス感染症の拡大により情報交換会（懇親会）を中止する場合があります。

〒399-3702 飯島町飯島 2529 番地
飯島町教育委員会 教育次長 小林 美恵
電話 86-3111 FAX86-5596
E-mail kyouiku@town.iijima.lg.jp

第 65 回長野県市町村教育委員会研修総会開催要項

- 1 趣 旨 市町村教育委員会の意識を高揚し、地方教育行政の円滑な推進と発展向上を図る。
- 2 主 催 長野県市町村教育委員会連絡協議会
- 3 後 援 長野県教育委員会、佐久市
- 4 参加者 県内市町村の教育委員会関係者（教育長、教育委員、事務局員）
- 5 期 日 令和4年10月21日(金)。
- 6 会 場 佐久平交流センター
〒385-0029 佐久市佐久平駅南4-1 (TEL 0267-67-7451)

7 日 程

<p>(1) 受 付 9:30～9:50</p> <p>(2) 開 会 式 9:50～10:30 ① 開式のことば ② 国歌斉唱 ③ 主催者あいさつ ④ 来賓祝辞 ⑤ 来賓紹介 ⑥ 閉式のことば ・ 諸連絡(日程等)</p> <p>(3) 講 演 10:40～12:00 演題 「保幼小中高を貫く学びとは何か ～新教育課程の理念と具体像～」 講師 文教大学教育学部発達教育課程教授 藤森 裕治 氏</p> <p style="text-align: center;">— 昼食・休憩・移動 (60分) —</p>	<p>(4) 分 散 会 13:00～14:30</p> <p>(5) 全 体 会 14:45～15:10 ① 議長選出 ② 会務報告 ③ 宣言・決議 ④ 次期開催地報告 (開催地代表あいさつ)</p> <p>(6) 閉 会 式 15:10～15:25 ① 開式のことば ② 主催者あいさつ ③ 県歌「信濃の国」 ④ 閉式のことば</p> <p>(7) 解 散 15:25 (終了後 都市教育委員会連絡協議会総会)</p>
---	---

分 散 会

研究協議題：「子どもの成長を支える市町村教育委員会のかかわり」

分散会	発表教育委員会	会 場	視点・サブテーマ
1	栄 村		今後の村の教育のあり方を村民主体で考える ～みんなで学校を創ろう！～
2	上田市	会場は、当日ご 確認ください。	燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり ～学力の定着・向上の取組について～
3	川上村		子どもたちの未来に向けて、地域・学校の思いをつなぐ新たな学校づくり ～「地域・学校と共に創る統合小学校」建設に向けた教育委員会の取り組み～
4	木祖村		子どもが真ん中の村づくりを目指して ～視点を変えた地域と学校との連携のあり方～
5	飯田市		自ら考え活動する子どもたちの育成を目指して ～中学生期の多様なスポーツ環境の充実に向けて～

8 当日の受付について

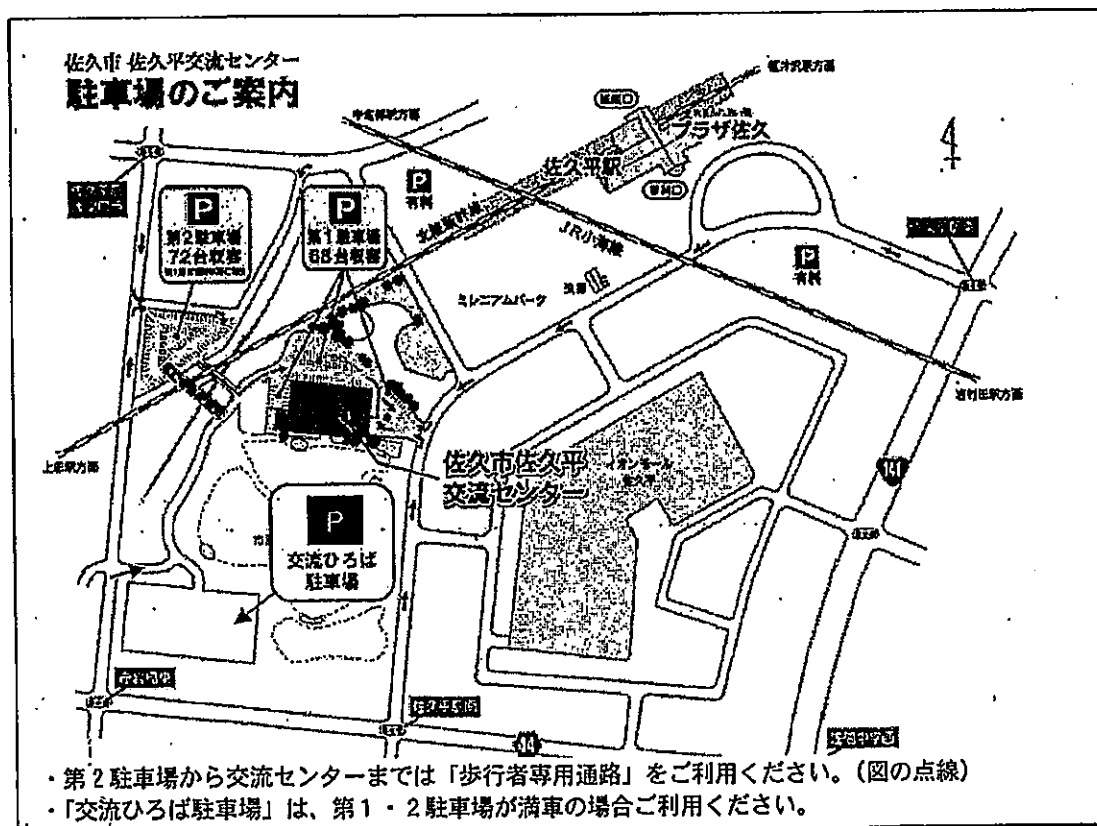
- (1) ホール入口前ホワイエが受付になります。各市町村教育委員会、代表者1名でお越しください。
- (2) 大会資料、全国連表彰及び県連表彰の表彰状（該当市町村教育委員会）をお渡しいたします。
- (3) 弁当代金と引き換えに食券をお渡しします。（おつりのないようご配慮ください。）

9 昼食について

- (1) ホール入口前ホワイエにてお渡しします。
- (2) 当日配付の会場案内で昼食場所をお知らせします。

10 参加にあたっての留意事項

- (1) 感染予防に十分留意されご参加ください。
 - ・発熱や体調不良がある場合は出席をお控えください。
 - ・マスク着用でご参加ください。
 - ・会場入口での検温や手指消毒にご協力ください。
- (2) 全体会場は、座席指定になっています。当日配付の会場案内で自席を確認してください。
- (3) 参加分散会は事前に希望を取りましたが、会場の都合により希望どおりにならない場合があります。参加分散会は当日配付の参加者名簿でご確認ください。
- (4) 新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、オンラインに変更する場合があります。ことをご了解くださいますようお願いいたします。その場合、開催期日に変更はございません。また、日程、内容は通常開催の場合とほぼ同様に実施する予定です。オンライン開催に変更した場合、あらためて開催要項をお送りし、詳細をお知らせいたします。



令和4年度 主幹指導主事 学校訪問日程表

	午 前	昼 食	午 後
9月 6日 (火)			赤穂南小学校 (13時05分～16時50分) 出席者：
9月 7日 (水)			赤穂東小学校 (13時00分～16時20分) 出席者：
9月 8日 (木)	赤穂中学校 (8時40分～12時30分) 出席者：	赤穂中学校 12時30分～13時10分	中沢小学校 (13時20分～16時50分) 出席者：
9月 14日 (水)	東伊那小学校 (8時50分～10時35分) 出席者：	東中学校 12時15分～13時00分	東中学校 (12時10分～16時40分) 出席者：
10月11日 (火)	赤穂小学校 (8時40分～12時30分) 出席者：		

※備考

- ・9月6日の赤穂南小学校への訪問には所長が帯同します。
- ・9月14日の東伊那小学校への訪問には所長が帯同します。
- ・すべて訪問となると、かなりのご負担になります。ご都合がつかない場合は欠席でも構いません。(これから出欠の確認をします)
- ・今後の調整によっては予定時刻が多少変わる場合も出てきます。ご承知おきください。